委員評価シート

_____ : 評価理由として採用したもの

_____ : 取組概要に対する意見として採用したもの

第1編 ごみ処理基本計画

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
基本目標	ごみの年間総排出量	ごみの年間総排出量	A	A
	市民1人1日当たりの排出量	市民1人1日当たりの排出量		
	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量		
	リサイクル率	リサイクル率		
	最終処分率	最終処分率		

評価理由

・いずれの指標も目標には届かなかったものの、リサイクル率を除いて達成率が90%を超え、前年度より向上したためA評価とした。

【大野】

- ・各項目が前年度より良くなっているためA。【八幡】
- ・消費社会のなか、排出量の現状維持でも評価できます。【渡邊】
- ・市の取組概要に同意です。【松山】
- ・5項目ある基本目標のうち【リサイクル率】以外の4項目で数値目標をクリアしているため。【舟木】
- ・目標に届いていない項目が多いが、全体的に見るとごみ減量化が進んでいると考えますので、評価をAとしました。【坂本】
- ・ごみの年間総排出量：目標達成率95.9%、市民1人1日あたりの排出量：目標達成率97.8%、市民1人1日あたりの資源物を除く排出量：目標達成率95.2%、リサイクル率：目標達成率87.5%、最終処分率：目標達成率98.6%の実績、リサイクル率以外は目標未達成ではあるが、前年より改善し評価に値するためA評価。【折田】
- ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える。【橋詰】
- ・ごみ収集の有料化に伴い、令和4年度に目標値を大きく変更したため、実績値が目標値に達していないが、ごみ排出量に関する三つの指標はいずれも減少している。【安齋】
- ・基本目標は何れも目標には達しなかったが、人口が大幅に増加している中で、前年に比べるとごみの年間排出量は減少しているため、評価をAとした。【堀部】
- ・目標数値は達成できていないものの、ある一定の水準で目標に近づいていると言えるため。【日高】

取組概要に対する意見

- ・令和4年度はごみ袋の有料化により排出量が大幅に減少したが、以後は実績、見通しともに僅かな減少でほぼ横ばいとなっている。さらなる減少を目指して効果的な方策の模索していくとともに、減少が見られない事業系の対策を強化していただきたい。達成率がやや低かったリサイクル率の向上は、焼却量、最終処分量の減少に資するものであり、他自治体の取り組みも参考に一層の向上に取り組んでいただきたい。【大野】
- ・減量できなかった反省点も良く分析していると思います。【渡邊】
- ・施策「リサイクル率」について、評価指標は「リサイクル率」の数値となっていて目標達成率が苦戦しているように見受けられる。一方で参考資料1「市民1人1日当たりの排出量目標と実績」の表に目を移してみると、「燃やせるごみ」の実績は、年々減っているが、「資源物」の量は、令和3年度まで微増、令和4、5年度はほぼ横ばいとなっていることを鑑みると、市民1人あたりで比較すると、堅調に資源化がされているのではないかと推察します。取組概要に記載されたとおり、家庭系燃やせるごみ、燃やせないごみからの掘り起こしが今後注力する必要があるとあらためて思いました。【松山】
- ・【リサイクル率UPにむけて】家庭系燃やせるごみの中に紙類が多く混入すると感じられるため、例えば【破れてしまった包装紙】や【宅配便で使用される緩衝材】を分別し古紙回収日に出す。また、【はがきや封筒などの郵便物】や【薬の処方箋】などの個人情報が含まれる書類はシュレッダーで裁断し古紙回収に出すなど、紙類の適正排出がなされるよう具体的な取り組みと共に、繰り返し発信していく必要がある。【舟木】
- ・家庭系ごみは減少している中、事業系ごみが増加しているのは有料化に伴い、家庭系ごみとして処分していた事業者が、事業系ごみとして処分するようになったと考えられます。あと何年かは事業系ごみは増加するのではないかと思います。資源物に関して、リサイクル率の向上のために、排出者が分別を意識する事が大事だと思います。その為に市民または排出事業者に対して分別意識向上の為の周知や方法を考える必要があると思います。また資源物の品質向上も今後必要になってくると思います。【坂本】
- ・市民への3Rの啓蒙活動の継続と我々販売事業者はリサイクルしやすい商品の開発要望などを製造事業者へ実施し、よりごみの排出削減への取組継続が今後も課題。事業者として感じる事は利便性及び進むプラスチック製品のリサイクルのしくみづくりがリサイクル率を高め、消費者意識の変革にもつながるため重要だと感じている。物を長く使用していく事ができるように消費者自身の意識改革と古着のような物を再利用する事への各種しくみづくりなど、資源の有効意識を消費者に根付かせる事も重要であると感じる。【折田】
- ・ごみ処理基本計画の基本目標に関する評価指標として、リサイクル率、最終処分率が適切か（他にも適切なものがないか）は、次期計画などにおける要検討事項。【橋詰】
- ・過去4年間増加してきたリサイクル率が前年度比で横ばい（漸減）になったことについてのより詳細な分析が必要ではないか。【安齋】
- ・リサイクルが進まないのは、分別に手間が掛かる割に市民にとってメリットが無いと感じられている点と、リサイクル出来るとして排出したものがリサイクル出来ないものだったと言うのが原因としてあるのでは無いかわかる。【堀部】
- ・事業系ごみの増加に対する抑制のための方法論があるか。【日高】

【基本方針Ⅰ】ごみの発生抑制・再使用・再生利用の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. リデュースの推進	①マイバグ運動・レジ袋対策の推進	活動実績	-	-
評価理由				
取組概要に対する意見				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
2. リデュースの推進	①環境を意識したごみの排出抑制の啓発	市民1人1日当たりの排出量	A	A
	②ごみ減量・リサイクル推進店の活動支援	活動実績		
	③生ごみ処理容器等の普及の推進	生ごみ処理容器等の購入基数		
	④ごみの排出抑制・減量化に繋がる諸制度の検討(重要検討施策)	検討の有無		

評価理由

・①③は目標達成率が高く、②を除いて活動状況も評価できるためA評価とした。【大野】
 ・市民並びに事業者の協力により、ごみ減量に貢献している。【八幡】
 ・努力を感じます。【渡邊】
 ・市の取組概要に同意です。【松山】
 ・上記、施策①・施策③については数値目標をクリアしている。施策④(重要検討施策)において【フードドライブ】の構築、【給水スポット設置によるプラごみ削減】を推進しているため。【舟木】
 ・生ごみ処理機の普及、フードドライブによる減量化、地域福祉が進んでいることから評価をAとしました。【坂本】
 ・環境を意識したごみの排出抑制の啓発:目標達成率97.8%、ごみ減量・リサイクル推進店の活動支援:80店舗(前年と同数)、各店舗毎の運営のきびしさ(コスト上昇)もあり、増加がみられなかった事がマイナスポイント。生ごみ処理器具等の普及の推進:達成率97.3%、ごみの排出抑制・減量化につながる諸制度の検討:市民&事業者への依頼をし、フードドライブの実施など評価できる、推進店舗が現状維持であった点を考慮し、B評価とした。【折田】
 ・有料化が実施されて2年目だが、初年度に引き続いての排出量減少であるなど、全体的に肯定的に評価できる。【橋詰】
 ・市民1人当たりの排出量が減少していることや、生ごみ処理容器等の購入件数が増えたこと、フードドライブの実施等、リデュースの成果が出ていること。【安齋】
 ・自治会を対象とした環境学習会ですが、ごみ問題に関心のある人しか参加していない様に思う。参加率も良いとは言えない様に感じる。フードドライブも取り組みとしては良いと思うが、周知徹底しているようには思えなかった為評価をBとした。【堀部】
 ・意識の改革の他に、ごみ排出抑制を支える環境づくりが同時に考えられているところを評価しました。【日高】

取組概要に対する意見

・排出量の減少は排出者の意識によるところが大きいため、啓発の活動は継続して実施していただきたい。生ごみ処理容器等は排出量減少に効果的と思われる。普及による実際の効果を検証して一層の普及に努めていただきたい。特に事業系への普及が必要と思われる。【大野】
 ・フードドライブについて、受ける実績はありますが、集めたものをどういった団体へ渡したか、一例だけでも見ると更に、市民や事業者への協力や理解が深まるのではないのでしょうか。【松山】
 ・【フードドライブについて】現在、食品等の持参先は市役所へとの認識であるが【商業施設】【小売店】など地域と連携してのハンドリングも必要ではないか【舟木】
 ・【給水スポットについて】給水スポットを設置している施設を知ってもらうために、茅ヶ崎駅や辻堂駅などに給水スポットマップを掲示するなど鉄道事業者との連携も必要であると感じる。どのくらい給水されたか数値データを集めるなど設置の効果を検証し公表する必要性を感じる。【舟木】
 ・今後も生ごみ処理機の普及、フードドライブ、環境学習会の実施を行って頂きたいです。また資源化出来る品目増加を今後検討して頂きたいと思います。【坂本】
 ・循環型社会におけるという事で若い世代から非常に意識が高いリデュースであるが、商品&しくみ(設備など)がまだ追いついていないので、継続して効果のある取組みを継続する事が必要。又、事業者はコスト高に消費者同様に苦しむ状況で、リデュースにつながる体制づくりが遅れている状況があるので、行政の支援体制が非常に重要と考える。食品のもったいない意識による排出削減など各家庭からの意識の変化に向けた行動も重要となってくる。【折田】
 ・リサイクル推進店の活動支援については、レジ袋の有料化により、その役割が済んだと考えてよいのではないのでしょうか。【安齋】
 ・関心の無い人がどうしたら関心を持ってもらえるのかを考える必要があると思う。【堀部】
 ・フードドライブの取組、素晴らしいと思います。【日高】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
3. リユースの推進	①リサイクル市・フリママーケット等の開催情報の提供【廃止】	活動実績	B	B
	②リサイクル品の活用推進	リサイクル品展示数		

評価理由

・イベントへの展示を含めて6回の展示を行った点は評価できるが、官公庁オークションで結果がでなかったことは効果が薄かったと思われるためB評価とした。【大野】

・市民の必要と思われるようなものがなかった。【八幡】

・努力は感じますが、工夫も必要と思います。【渡邊】

・数値外での評価ということになるが、家具展示を行い、オークションについては応札がなかったが行ったということで、推進活動はしていると考えます。金額や点数の目標値もないことから、実施したことを評価してAとしました。【松山】

・リサイクル品の展示回数減に比例して、申し込み件数が51件(R5年度は127件)と減少しているため。【舟木】

・リサイクル品の活用推進が結果を残せなかったということで評価をBとしました。【坂本】

・リサイクル品の活用推進：申し込み51件、寄付金11,500円の実績を踏まえ、B評価とした。日本の中ではリサイクルがしくみとして機能をしているが、官民の中で上手く運用できているので、大きな視点からすると問題ないと思える。【折田】

・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】

・リサイクル品の展示を実施したこと。【安齋】

・イベントで展示していても、関心のある人しか目に留まらない。私が良く行く場所で展示が行われた様だが、目にした記憶が無い。費用対効果を感じられない為、評価をCした。【堀部】

・リユース推進施策になっているか不明なため。【日高】

取組概要に対する意見

・一日限りの展示では、手間がかかる割に効果が薄いとされる。民間の事業者等での常時展示を検討してはどうか。【大野】

・大規模なリサイクル品の販売会もイベントとして面白いかもしれません。【渡邊】

・①が廃止になったことに伴い、②のみの評価でかつ評価指標は「数値外」となっている。令和4年度の取組概要公表資料を見ると「リサイクル展示会のほか、新規の取組を実施し、数値としても結果が出てきていることから、A評価とする」といった内容があることから、数値に対しても開催回数や出展数など評価しやすい指標の追加が必要ではないかと思いました。【松山】

・例えば、【子育て世代】 【新品にこだわらない世代】など、リサイクル品に関心がある層、また、その層が住む地域をリサーチして展示会を開催する場所を選定してはどうか。【舟木】

・リサイクル品の活用推進のBRANCH茅ヶ崎2におけるリサイクル品展示については、個人的にBRANCHをよく利用するので開催されている事を知っていましたが、他のイベントでの展示、官公庁オークションに関してはまったく知りませんでした。展示やオークションの開催周知方法の見直し、検討をしてはどうかと考えます。【坂本】

・大型家電・機械などリユース可能であるがリユースすべき修理費用など費用対効果を考えるとしにくいのも現状。又、近年の異常気象や電気料金の高騰など従来では当たり前でなかった最新式の商品に買い替える事が消費者の生活防衛(出費抑制)につながるなどコロナ後は社会のしくみ事態の変化もあり、ごみの排出削減が進みにくのが現状である。リユースを進めるためには、事業者としての商品開発なども重要であるが、消費者の意識改革も非常に重要と考える。【折田】

・リサイクル品の官公庁オークションでの販売が可能であるならば、リサイクルショップ等への販売についても検討の余地がある。【安齋】

・イベントでは無く常設展示を複数個所でした方が良いのではないかと感じた。展示の仕方などまだまだ工夫の余地があると思う。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
4. リサイクルの推進	①剪定枝資源化の推進	活動実績	A	A
	②適正分別のための情報提供(重点施策)	周知実績		
	③集積場所における適正排出の指導	実施の有無		
	④家電リサイクル推進の継続	周知実績		

評価理由

・いずれの項目も順調な活動が見られるためA評価とした。【大野】
 ・各項目共に取り組みが評価できるのでA。【八幡】
 ・③の集積所における指導は、指導員の負担が大きくなります。難しいが住民の良識を期待したいと思います。【渡邊】
 ・市の取組概要に同意です。【松山】
 ・施策②Web検索ツール【ごみさく】の品目件数が大幅に増え使い勝手がよくなった点が特筆される。【舟木】
 ・全ての項目において成果が得られたと感じたので評価をAとしました。【坂本】
 ・剪定枝資源化の推進:前年116t増加、適正分別のための情報提供:WEB検索ツール「ごみさく」の活用前年より1,099件増加、集積場所における適正排出の指導:環境指導員による指導、家電リサイクル推進の継続:ホームページに排出方法を周知、リサイクルへの取組みは、個人としても事業者としても双方の視点からも評価できるためA評価。【折田】
 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
 ・施策のいずれもが有効に機能し、リサイクルが推進されている。【安齋】
 ・まだまだ改善の余地はあると思うが、結果から評価をAとした。【堀部】
 ・継続して取り組み、それぞれ実績をあげているため。【日高】

取組概要に対する意見

・適正分別、適正排出は、実感としてかなり周知され実行されていると思われる。活動の継続をお願いしたい。【大野】
 ・剪定枝の目標数値は設定されているのでしょうか。ないようでしたら目標値の設定など上げていくのがよろしいかと思います。【松山】
 ・集積場所の適正排出については【環境指導員】の方が動きやすい体制を整える必要があるのではないか。【地域皆で集積場所をきれいな状態に保つために工夫できること】を募集するなど地域住民の意識へアプローチする取組が必要と感じる。【舟木】
 ・集積場所における適正排出の指導について、環境指導員地区会議で管理及び分け方・出し方の指導を依頼したとなっているが、依頼だけではなく環境指導員や収集作業員から情報収集をし、排出マナーが悪い集積所をピックアップし、自治会、行政で協力し現場にて指導を行っては如何かと思います。単発ではなくある程度の期間行うことが必要だと思います。【坂本】
 ・剪定枝の資源化など数値として非常に明確になっているものは、市民にきちんと伝え更なる数値の改善につながるような情報提供、リサイクル為最も重要な分別を周知させていくこと、環境指導員による指導など地道な活動の継続が重要と考えられる。リサイクルの推進には設備面の充実と消費者の資源としての商品という考え方など今後も継続した行政からの情報提供が重要である。【折田】
 ・剪定枝の資源化については、発電と灰の肥料としての有効利用が市民に対してリサイクルの有効性を認知していただく好例であり、収集量のさらなる増加を図り推進するべきである。【安齋】
 ・剪定枝の資源化は良かったと思うが、資源化したものはすべて有料で良いと思う。Webは若い層には良いが、高齢者では使えない方も多いため、より解り易い紙ベースで自治会に入っていない人にも情報がいきわたるようにする必要があると思う。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
5. 事業系一般廃棄物の排出抑制・資源化の推進	①「4R推進事業者行動協定」の創出【廃止】	実施の有無	B	B
	②多量排出事業者における減量化等計画書の提出(重点施策)	提出数		
	③事業系ごみの排出状況の把握(重点施策)	実施の有無		
	④事業者の訪問(重点施策)	訪問件数		
	⑤事業系直接搬入ごみの分別指導(重点施策)	定期的な指導		

評価理由

・活動は評価できるが、排出量が減少せず効果が見られないことからC評価とした。【大野】
 ・重点項目でありながら効果が出ていないのでB。【八幡】
 ・**不適正排出、特に37.8%の具体的な例を知りたいです。**食品ロス10.3%はやむを得ないかなとも思います。【渡邊】
 ・市の取組概要に同意です。【松山】【日高】
 ・数値目標については達成したが効果がみられなかった、現状の課題に対して効果があまりみられなかったため。【舟木】
 ・取組に対しては実施は出来ているが効果が得られなかったので評価をBとしました。【坂本】
 ・多量排出事業者における減量化等計画書の提出:25社から計画書の提出あり、事業系ごみの排出状況の把握:効果がみられず、事業者の訪問:アンケート調査の実施、効果見られず、事業系直接搬入ごみの分別指導:指導はできたが効果が見られず、事業系一般廃棄物の排出抑制に対してはB評価。【折田】
 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
 ・各施策が実施できていることから、B評価とする。【安齋】
 ・結果が出ているとは思えない状況が今も続いている為、評価をCとした。【堀部】

取組概要に対する意見

・事業者にはより一層の啓発活動の強化が必要である。特に情報が伝わりにくい小規模事業者の意識を高めていただく必要があると思われる。【大野】
 ・②③④⑤について、資料7の市の評価理由をみると、いずれも効果が見られなかったとの記載があるが、効果というのは何をもちて有無を判断したのかが不明瞭です。たとえば②は100%提出達成しているにもかかわらず、「効果がえられなかった」な理由により、Bという評価になるといった点が不明瞭と感じました。事業系一般廃棄物に関するデータは、いただいた参考資料「家庭系・事業系別の表でしか判断できないですが、コロナも明けて経済活動が増えれば、事業系一般廃棄物は増えるものと推測します。仮に「事業者経済活動当たり」といったことが算出されて、指標になれば、減量化効果が出ているかもわかりません。どのような指標を用いて、事業者の廃棄物を評価すればよいかなかなか難しいところではありますが、次の一手につながるような指標を研究いただければと思います。【松山】
 ・取組概要については今後も継続して欲しい。一方、市の評価理由として【効果が見られなかった】との記載が多く、効果の有無をはかるものさしが必要と感じる。【舟木】
 ・②～⑤に関して、目標達成には④の事業者訪問が重要だと考えます。非常に大変な作業だとは思いますが、定期的に排出事業者を訪問し、排出抑制、資源化の推進を行って頂きたいと思います。【坂本】
 ・計画書の提出は計画通りであったが、事業系ごみの排出削減には事業者の問題もあるが事業者毎の生産性向上にむけたごみがでにくい事業活動といった大きなしくみづくりが必要であり、継続した働きかけが必要である。長く製品を使用していく事が事業系ごみの削減につながるため、消費者にはものを大事に使う事の働きかけが必要。事業系のごみは事業者の業績との関連が強いので、中期スパンでの目標&働きかけなど作成が必要。【折田】
 ・③の組成分析調査と⑤の内容物調査は同じ対象者についてのものか。⑤の内容物調査の対象者数は？適正分別指導の対象となった不適切分別事例の件数・割合・内容は?【橋詰】
 ・いずれの施策も重点施策になっているにも関わらず、効果が見られないとの判断について、より明確な理由を示し、実態調査については実施できているので、有効な対策を立案すべきである。【安齋】
 ・茅ヶ崎駅周辺や海側など事業者ごみが排出されていなければおかしい場所でも、ほとんど事業者ごみ用のごみ袋が排出されている所を見たことが無い。おそらく家庭ごみとして排出されているのだと思われる。それらは今後戸別収集の実験が始まれば判る事だと思われる。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
6. 受益者負担の適正化	①ごみ有料化の検証	実施の有無	A	A
	②一般廃棄物処理手数料改定の検証	実施の有無		
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証を実施し、効果を公表したことは評価できるためA評価とした。【大野】 ・ごみ有料化、処理手数料の効果検証を評価できる。【八幡】 ・ごみ有料化には異議ありません。【渡邊】 ・市の取組概要に同意です。【松山】 ・施策①、②ともに実施及び一定の周知ができています。【舟木】 ・全ての項目において効果が得られたと思いますので、評価をAとしました。【坂本】 ・ごみ有料化の検証：各種広報媒体で周知することができた、一般廃棄物処理手数料改定の検証：各種広報媒体で周知する事ができた、受益者負担の適正化は予定どおり進んでいると考え、A評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・ごみ有料化と戸別収集に関するアンケート調査を実施したことは記載があるが、①と②の取組概要の記載が同一であり、一般廃棄物処理手数料改定の検証に関しては記載がないので、Bとした。【安齋】 ・ごみの有料化自体は時代の変化で仕方が無いと思うが、金額の見直しや袋の使い方等かなり改善の余地があると思いい評価をBとした。【堀部】 ・効果についての周知ができていますと判断できたため。【日高】 <p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>廃棄物の回収・処理にかかわる費用は市民からの税金であり、公平性の観点からも受益者負担は必要な施策である。さらに適正化の余地がないか検討していただきたい。</u>【大野】 ・ごみ有料化には異議なし。今のごみ回収の諸問題が軽くなるなら回収量のアップもやむを得ない。【渡邊】 ・特にありません。【松山】 ・戸別収集に関する【アンケート調査の結果について】や、【現在の進捗状況】及び【今後の進め方について】もう少し、発信媒体や発信方法、回数などを工夫する必要があったのではないか。【舟木】 ・今後も同じように実施して頂きたいと思います。【坂本】 ・コロナ後、さまざまなコスト、最低賃金など費用（コスト）に関わる意識は消費者意識が一変したため計画通りと考える。消費者として費用を負担する、負担額を減らす、ごみの排出削減を心掛けるというきちんとした流れで考えられるので順調と考える。今後もこの考え方&しくみの情報発信を継続していくとともに、<u>将来的には環境にやさしい商品&リサイクルの推進などごみの削減に向けての取組みと連動させていく事が重要。</u>【折田】 ・<u>ごみ有料化の実施後の市民の評価について調査することは、非常に重要である。</u>今後の重要な課題である戸別収集に関する市民の意向調査についても同様である。【安齋】 ・もう少し安い袋の導入、燃やせないごみで袋に入れられない物に関してはシール対応にするなどした方が良いと思われる。【堀部】 				

【基本方針Ⅱ】資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムの構築

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 収集・運搬 (1)ごみを取り巻く環境の変化に対応した収集・運搬の検討	①効率的でバランスの良い収集区割の調査・検討	実施の有無	A	A
	②今後の社会情勢を踏まえた集積場所のあり方、収集方法の検討(重要検討施策)	実施の有無		
評価理由 ・収集の効率化の検討、「安心まごころ収集」など継続的に実施されており、A評価とした。【大野】 ・各取り組みが評価できるのでA。【八幡】 ・自治会長や環境指導員に集積場所等の負担を求めないでほしい。【渡邊】 ・市の取組概要に同意です。【松山】【日高】 ・収集コースの見直しにより車両を増車することなく収集できたため。【舟木】 ・全ての項目において現段階において問題ないと思いますので、評価をAとしました。【坂本】 ・効率的でバランスのよい収集区割の調査・検討：コースの見直しを実施することで増車なく収集ができた、今後の社会情勢を踏まえた集積場所のあり方、収集方法の検討：自治会長や環境指導員の個別収集に対するニーズ調査を行い、今後の参考にできた。 収集運搬に関してはA評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・収集・運搬の効率化が図られたことからA評価とする。【安齋】 ・有料化の後はごみの量が減った為、少し改善したが、まだまだ収集時間が遅いと思う。改善の余地があると思いい評価をBとした。【堀部】				
取組概要に対する意見 ・集積場所、収集方法の検討に当たっては、市民の利便性、収集員の手間、要員、コスト、すでに普及の進んでいるネットボックスをどう取り扱うか等、一長一短があり、多面的に検討し、拙速な決め方にならないよう留意願いたい。(個人的には、コスト、要員などを考慮すると、戸別収集より現状のステーション方式で問題解決を検討の方がよいと思う。)【大野】 ・道の駅が開業を控えていたり、あるいは今後新しいマンションや商業施設ができるなど、時代の流れによって、人や車の流れが変わる可能性があります。 <u>増車しなかったから良いという視点だけではなく、増車することによって効率化も図れることもあるかと思いいので、多角的な視点で効率化を図っていただきたいと思いいます。</u> 【松山】 ・ <u>調査結果から掴んだニーズを実現するために、スピード感をもって今後のごみの収集や集積場所の在り方について検討して欲しい。</u> 【舟木】 ・今後の収集方式や集積場所のあり方、拠点数の増加などにより車両の増加が必要になると思いいます。収集方法に関して、夏が年々暑くなってきており作業員の負担が大きくなっている。ネットなどでも収集作業員きついと検索で出てくるようになっていいる。また人材募集をする際、年間休日日数を見る人が多くなっている。将来的な人材不足回避の為に盆期間の収集無し、年末年始の収集無し期間の見直し等も必要になってくるのでは思いいます。【坂本】 ・効率のよい収集区割は非常に評価できるし、地域のニーズのヒアリングをできてる事は評価できる。 <u>市民の利便性を高め、更にごみの排出削減につながるしくみ作りの継続が必要と</u> 考えられる。ごみの個別収集の最大メリット時間外のごみ排出をなくせる事はあるが、コストの試算を継続して効果の検証が重要と考える。【折田】 ・ <u>ごみステーションの管理や戸別収集に対する市民の意向を確認することは、今後の施策を進めるうえで、非常に重要である。市内の各地域によって要望が異なると考えられるので、市民ニーズの把握に努めてほしい。</u> 【安齋】 ・海側はかなりの不法投棄がある地域だが、住民が自主的に自腹でそれらに対処しているケースが多い。不法投棄する側もカラス除けネットの中に捨ており、なかなか不法投棄が判り辛い状況である。(市では不適切排出と言う扱い)大型のカラスよけネットは毎回設置→片づけは難しい為、戸別収集にして大型ネットの数を減らせばこれらの問題はかなり解消できると思いいれる。【堀部】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)環境と安全に配慮した収集・運搬の実施	①環境負荷の少ない収集車両の積極的な導入	導入台数	A	A
	②環境指導員との連携による集積場所の安全確保	研修会及び意見交換会の開催		
	③環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究及び積極的な導入	研修会等実施実績		

評価理由

- ・環境負荷の少ない収集車両の導入はできなかったが、重要な問題である安全確保の施策は継続的に実施されており、A評価とした。【大野】
- ・環境指導員との意見交換が行われている。安全に対する研修ができています。【八幡】
- ・市の取組概要に同意です。【松山】
- ・安全を意識した研修(安全運転・安全作業・安全整備)により収集運搬技術の向上をはかっているため。【舟木】
- ・全ての項目において問題ないと思い、評価をAとしました。【坂本】
- ・環境負荷の少ない収集車両の積極的な導入:導入台数0台、環境指導員との連携による集積場所の安全確保:集積場所についてのアンケート、安全確保ができた、環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究及び積極的な導入:安全運転研修、安全作業研修を各1回実施。導入台数0台が目標未達である為、B評価。【折田】
- ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
- ・環境負荷の少ない収集車両の導入ができなかったため、B評価とする。【安齋】
- ・①に関しては持ち越しと言う事で良いと思う。②に関しては環境指導員会議では、市からの説明を聞いている時間が多く、環境指導員が日ごろ感じている事を話す時間がほとんど無く、会議では無く一方的な説明会となっている。③現場によりばらつきがみられるため、引き続きの研修をお願いしたい。以上を踏まえて評価をBとした。【堀部】
- ・実績が上がっていると感じたため。【日高】

取組概要に対する意見

- ・収集作業における安全確保は重要な課題であり、継続して取り組んでいただきたい。【大野】
- ・自治会長の会議では、現状の回収方法に満足している自治会長はほとんどありません。地区会議を開催したからといっても、それで納得していることではありません。住民の意見を直接受ける自治会長としては、他の審議委員の方と意見が違うと思います。【渡邊】
- ・令和4年度取組概要が「新たな車両を導入することはできませんでしたが、次年度以降の導入に向けて、新しい収集体制を踏まえた仕様を作成しました。」となっており、今回は「着手しました。」という文言に変更になっている。過去の評価との連続性、整合性を鑑みて、前回の収集体制は何が問題だったかを具体的な一例を示すなど、今後の方向性に記載をした方が良いかと思います。【松山】
- ・集積場所の諸問題や集積場所の安全確保について交わされた意見や実施内容を市内で水平展開する必要性を感じる。環境負荷の少ない収集車両導入については今後の収集方式を考える上で、その仕様と1台あたりの導入費用及び人件費を含めたランニングコストを可能な限り早く開示する必要を感じる。【舟木】
- ・特にありません。【坂本】
- ・環境負荷の少ない収集車両の導入は市民の意識改革にもつながる為、導入に向けて継続的な取組みをしていただきたい。地域との連携は着実に進んでいると感じるため、地区で非常に効果の高いところの情報共有などが必要。ごみ収集の研修を継続して実施し安全を継続していただきたい。【折田】
- ・施策①と③は関連する項目であり、並べ替えを検討してほしい。また、環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究についての取組概要に安全に関する収集技術の向上を記載することについては、不一致ではないか。【安齋】
- ・住宅街で道路が狭く入り組んだ地域では、収集車両を小型化して台数を増やす方が小回りも効いて良いと思う。意見交換会は事前に資料を配布するなどの工夫で有意義な時間なると思う。【堀部】

項目		評価指標	市の評価	委員評価
2. 中間処理 (1) 中間処理施設の整備	①リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営	実施の有無	A	A
	②粗大ごみ処理施設の整備	実施の有無		
	③焼却処理施設の大規模改修	実施の有無		
	④バイオガス化施設整備の基礎調査及び検討【廃止】	実施の有無		
評価理由 ・施設の管理、整備、修繕が適切に行われており、A評価とした。【大野】 ・計画が順調に推移しているためA。【八幡】 ・市の取組概要に同意です。【松山】 ・①～③について運営・整備は進められているため。【舟木】 ・全ての項目において問題ないと思い、評価をAとしました。【坂本】 ・リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営：隔月開催の会議&セルフモニタリングの実施で効率的な運営ができた、粗大ごみ処理施設の整備：選定委員会を通じて当該事業者とDBO契約を締結、滞りなく事業を実施、焼却処理施設の大規模改修：適正な修繕を実施し、ごみの適正処理の実施、中間処理施設の整備はどの項目も成果があり、A評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・中間処理施設の整備が予定通り実施できたことから、A評価とする。【安齋】 ・①寒川町の施設と協力して適切に運用されており、リサイクルごみの品質も向上しているとの事。②③も適切に対応されていると思われるため、評価をAとした。【堀部】 ・中間処理についての施策が適正であると考えたため。【日高】				
取組概要に対する意見 ・施設の効率化、寿命の長期化のために、今後とも管理状況を把握して、適切に整備、改修していくことが重要である。【大野】 ・今後の努力、研究の継続に期待します。【渡邊】 ・特にありません。【松山】 ・②施設の工事進捗をHPで見られるように、特別目的会社との協議内容も分かりやすく発信する手段を検討されたい。【舟木】 ・中間処理場での資源物品質向上だけでなく、収集時においても品質向上をした方が良いと思います。収集時となると排出者に協力をしてもらわないといけない部分もあります。排出方法、仕分けの仕方、品目の見直し等を行った方が良いと考えます。【坂本】 ・中間処理は非常に重要なポイントとなるため、市民への協力と更なる設備の更新、設備の維持などメンテナンスを含めての管理が重要。設備は経年劣化するため、定期メンテナンスと必要に応じて最新設備の導入など効果の高いしくみの導入と費用面などの検証の継続が必要。【折田】 ・焼却処理施設の大規模改修は平成29年に完成しており、稼働後6年を経過しているが、評価指標が大規模改修の「実施の有無」であり、評価理由が「保守点検と修繕の実施」では、施策の項目と評価指標、評価理由が乖離している。【安齋】 ・ごみ処理施設の整備改修等はなかなか市民には見えにくく、理解されづらい部分だと思う。その辺を解り易く市民に知らせる方法を考えた方が良く思う。【堀部】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)中間処理残渣の減量化・再資源化の促進	①焼却残渣再資源化方法の調査・研究	調査・研究の有無	B	B
	②焼却残渣再資源化の促進	焼却残渣再資源化量		
	③中間処理残渣の減量化・再資源化に繋がる中間処理技術の研究	研修会等への参加実績		
評価理由 ・再資源化への取り組みはある程度評価できるが、再資源化量が前年を下回っており、B評価とした。【大野】 ・目標は未達だが、今後の調査研究は実施されているのでB。【八幡】 ・市の意見に概ね同意で、追記としまして、②は指標数値は目標値90.9%と数字はクリアできているが、昨年度は107.7%の目標値達成率と、これら2つの数字を比べると落差が大きく、研究調査に注力をする必要があると感じます。【松山】 ・①～③について調査・研究が進んでおり焼却残渣の再資源化について新たな取り組みが見られたため。【舟木】 ・焼却残渣再資源化の達成率が良くないので、評価をBとしました。【坂本】 ・焼却残渣再資源化方法の調査・研究：薬剤による焼却残渣の調査研究ができた、焼却残渣再資源化の推進：目標達成率90.9%、中間処理焼却残渣の減量化・再資源化につながる中間処理技術の研究：研修会へ参加できなかった、新しい薬剤の試験を実施。中間処理残渣の減量化・再資源化の推進は、まだ試験段階のためB評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・各施策について調査研究を実施しているのでA評価とした。【安齋】 ・①②に関してはまだ改善の余地があると思われるが、将来に向け道筋が着いたのは良かった。③に関してはYouTube等を利用して研修会参加は出来なかったのか？研修を受けてからの方が薬剤試験など効率を上げる事が出来たのではないかとと思われる。以上を踏まえ評価をBとした。【堀部】 ・調査研究や新しい薬剤の試験棟、一定の実績が認められるため。【日高】				
取組概要に対する意見 ・ <u>焼却残渣再資源化の調査研究は、市単独では困難と思われるため、民間、研究機関等との連携が必要と思われる。</u> 【大野】 ・努力、工夫を求めます。【渡邊】 ・参考資料1によると、令和6年度の目標値が2,399tとなっていますが、令和5年度の実績を鑑みると、かなりの注力が必要と感じています。焼却残渣の搬出先の選定について、年々厳しさを増しているかと思いますが、再資源化率を向上するためには、かなりのウエイトを占める品目かと思しますので、引き続きの調査研究・再資源化促進をお願いいたします。【松山】 ・焼却残渣を再資源化する選択肢を増やす道を検討されたい(アスファルト舗装の路盤材など建設資材へ)。【舟木】 ・ <u>焼却残渣を再資源化する業者に委託するだけでなく、再資源化した物を茅ヶ崎市として再利用できないか検討していくのはいかがでしょうか</u> と思えます。例えば再資源化した砂を砂粘土にし、市内の保育施設等に販売もしくは寄付する等焼却残渣による循環リサイクルの構築を検討してはどうかと思えます。【坂本】 ・ごみの残渣の再資源化に向けて重要になるごみの分別を市民に徹底させることにつきます。【折田】 ・中間処理技術の研究に関する評価指標が「研修会等への参加実績」だけではないと考える。実地での試験実施は研究である。【安齋】 ・焼却残渣は利用率を上げる事、長時間使用した場合に環境に影響が出ない事等の検証も必要かと考える。【堀部】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
3. 最終処分	①焼却残渣の減量施策の実施	焼却処理量	A	A
	②最終処分場の安全管理の実施	実施の有無		
	③最終処分に関する検討	検討の有無		

評価理由

・焼却残渣は着実に減少しており、最終処分場の管理等も適切に実施されていることから、A評価とした。【大野】
 ・施設の維持管理及び住民対策ができています。【八幡】
 ・市の取組概要に同意です。【松山】
 ・①について数値目標が達成されている。②については保守点検及び修繕が行われ安全に管理されている。③については地元関係団体と意見交換が行われている。【舟木】
 ・全ての項目において問題ないと思い、評価をAとしました。【坂本】
 ・焼却残渣の減量施策の実施：目標達成率92.8%、最終処分場の安全管理の実施：施設の保守管理及び修繕の実施、最終処分に関する検討：地元関係団体との定例会開催、各種調査結果などの報告実施、最終処分はA評価。【折田】
 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
 ・最終処分に関する各施策が実施できたことからA評価とする。【安齋】
 ・①は、人口増の為、目標値に届かなかったのは仕方が無い。②は、問題が無く良かった。③は、今後は再利用する事、なるべく埋め立てない様にする事が望まれる。以上を踏まえて評価をAとした。【堀部】
 ・それぞれの施策について、十分なアクションが行われていると認められるため。【日高】

取組概要に対する意見

・最終処分場の周辺環境への影響を考慮すると、その管理は重要であり、継続して取り組んでいただきたい。最終処分場の延命のために、資源化の推進に一層傾注していただきたい。【大野】
 ・特にありません。【松山】【坂本】
 ・今後も施設周辺の環境調査及び施設の保守点検、修繕は確実に実施していく必要がある【舟木】
 ・焼却残渣が前年度比211tとの状況からごみの分別が進み、焼却効率がアップした事がわかるので継続していただきたい。焼却ごみの量削減する為の働きかけを継続していく事が重要。最終処分上の安全管理の継続が重要。【折田】
 ・堤十二天最終処分場の現時点での残余容量、埋立可能年数は？ 令和15年度末の同最終処分場の埋立終了及びその後に向けた最終処分の見通しは？【橋詰】
 ・焼却処理量は、ごみ収集量の増減に依存しており、「焼却残渣の減量施策」は「ごみの減量施策」と同義ではないか。数値目標の他に、分別収集の徹底による資源ごみの分離との関連も記載が必要である。【安齋】
 ・埋め立てにも限度がある為、なるべくごみを出さない、出したごみを出来る限り再利用する事が重要だと思われる。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
4. 茅ヶ崎市域災害廃棄物の処理	①災害廃棄物の適正かつ迅速な処理体制の構築	実施の有無	A	A
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル策定に向けての活動は評価できるため、A評価とした。【大野】 ・災害廃棄物の搬送処理をするルートが業者と締結できたのでA。【八幡】 ・市の取組概要に同意です。【松山】 ・<u>災害廃棄物等の処理に関する基本協定を締結し処理体制の構築を行っているため。</u>【舟木】 ・特に問題ないと思い、評価をAとしました。【坂本】 ・新たな協定の創出に至った、茅ヶ崎市域災害廃棄物の処理はA評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・災害廃棄物の処理に関する施策が実行されているのでA評価とする。【安齋】 ・マニュアルをより実効性のあるものに出来たのは大きな成果と思われるため、評価をAとした。【堀部】 ・より実効性があるようにマニュアルの検討や協定の締結は有効と考えるため。【日高】 <p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害は予期せずに発生するため、実効性のあるマニュアルをなるべく早期に整備していただきたい。【大野】 ・湘南地方で災害が発生したなら、関東地方全体で災害ということになります。ごみを処分する場所がない茅ヶ崎は大パニックになるでしょう。【渡邊】 ・<u>災害廃棄物対策は、昨今の災害が激甚化していることから注力すべき事項か</u>と思います。建設什器・搬出車両や処理業者など、<u>市内外問わず多く広くの団体と協体制の構築が喫緊の課題か</u>と思います。新たな協定の締結も含め、BCP計画のブラッシュアップもお願いいたします。【松山】 ・より実効性のある廃棄物処理マニュアルのリリースをお願いしたい。【舟木】 ・とくにありません。【坂本】 ・日本各地で発生している災害ごみの状況を踏まえ、日頃からの計画づくりと万が一発生した場合の迅速な体制での運用づくりが必要。災害への危機管理として行政、事業者は計画の策定と見直しの継続が必要。【折田】 ・<u>災害廃棄物の仮置き場の整備についても記載が必要ではないか?</u>【安齋】 ・近年の風雨災害の被害は従来とは比べ物にならなくなってきている様に感じる。<u>対応マニュアルの見直しは小まめに実施する必要があると思う。</u>【堀部】 				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
5. 適正処理 (1)処理困難物等の処理方法についての情報の充実	①処理困難物の処理方法等についての情報の充実 ②製品の適正なりサイクルルートの周知	広報実績 情報発信の有無	A	A
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の努力により、適正処理に関する情報はかなり周知されていると思われるため、A評価とした。【大野】 ・各種媒体で広報案内ができています。【八幡】 ・市の取組概要に同意です。【松山】 ・様々な媒体を使い情報発信している。環境学習会での説明が継続されている。【舟木】 ・特に問題ないと思い、評価をAとしました。【坂本】 ・<u>処理困難物の処理方法等についての情報の充実:環境指導員への資料配布、ホームページ、SNSによる周知を図る、製品の適正なりサイクルルートの周知:環境学習会での説明、各種広報媒体での周知、適正処理はA評価。</u>【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・処理困難物の処理方法や、リサイクルルートの周知が行われたので、A評価とする。【安齋】 ・①②ともに関心のある層にしか情報が届いていない様に感じる。そのため評価をBとした。【堀部】 ・広く市民が理解することが有効なため。【日高】 <p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>現状の活動を継続していただきたい。「ごみと資源物の分け方・出し方」は大変よくできており、適正処理の周知に大いに役立っているが、事業者向けの内容が乏しいため充実化するか、別途事業者向けの冊子を作成してはどうかと考える。</u>【大野】 ・出し方、分け方についてマニュアルに書かれていない物も意外とあります。【渡邊】 ・茅ヶ崎市の公式LINEからもごみの分別について調べることができ、様々な媒体から広報活動ができています。【松山】 ・情報発信や説明後の効果測定を検討されたい。【舟木】 ・特にありません。【坂本】 ・適正処理を実施するための働きかけ、情報発信の継続が重要。環境指導員から伝わる人数を増やしていく事を実施していく事が重要。【折田】 ・「製品」が何を指すのかが分かりにくい。簡単な説明か引用が必要ではないか。【安齋】 ・<u>自分の出すごみに関心を全く持たない層にどう伝えるかが重要だ</u>と思う。【堀部】 				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)不法投棄に対する防止策の検討	①重点地域・強化期間等を定めたパトロール・監視の強化	パトロール・監視実績	A	A
	②県や警察との協力関係の強化	パトロール・監視実績		
	③市民、事業者と連携した不法投棄の防止	不法投棄量		
	④キャンペーン等啓発活動の実施	活動実績		
	⑤不法投棄に関する調査・研究の実施	調査・研究の有無		

評価理由

・パトロール、監視などの活動により、不法投棄は減少していると思われ、A評価とした。【大野】
 ・各施策に興垂が出ているのでA。【八幡】
 ・③小出地区の意見交換会が昨年対比で+11回となっており、地域住民とともに不法投棄に対する防止策について、検討を重ねていることが伺えます。年々その推進力、スピード感が上がっていることについて評価します。【松山】
 ・①～⑤の施策については不法投棄防止に向け確実に取り組みが行われているため。【舟木】
 ・全ての項目において効果が得られたと思い、評価をAとしました。【坂本】
 ・重点地域・強化期間等を定めたパトロール・監視の強化：パトロールの実施と防止看板&監視カメラの設置、県や警察との協力関係の強化：連絡会を開催し、協議や意見交換を実施、市民、事業者と連携した不法投棄の防止：前年度比0.1t減、キャンペーン等啓発活動の実施：通常パトロール以外のコースを実施、不法投棄に関する調査・研究の実施：不法投棄場所&パトロール箇所のデータ化実施、不法投棄に対する防止策の検討はA評価。【折田】
 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
 ・不法投棄に関する様々な施策が確実に実施されているので、A評価とする。【安齋】
 ・改善すべき点はあると思うが効果が出てきているので評価をAとした。【堀部】
 ・パトロール、看板の設置等、継続した取り組みがなされているため。【日高】

取組概要に対する意見

・不法投棄対策はたちごっこになりがちと思われ、大変だと思いが不断の活動が必要である。【大野】
 ・不法投棄者の罰則、パトロールの強化をお願いします。【渡邊】
 ・不法投棄箇所等のデータ化について、今後この取組がさらなる防止へとつながることに期待しています。【松山】
 ・今後は集積場所の不法投棄（指定日に指定のごみを出さない・放置される）防止についてもコミュニケーションをとって取り組んでほしい。【舟木】
 ・不法投棄という考えの範囲を広げ、市民一人一人の意識を高めるよう啓発活動をしてはどうかと思います。例えば、タバコのポイ捨て、BBQの炭の放置も不法投棄であると啓発していく等。【坂本】
 ・不法投棄に関してはしない、させないくみ作りに向けて市民の協力と抑止策の双方からの取組みが必要。不法投棄場所は常に不法投棄がない状態（しにくい状況）を作っていくため、定期的な巡回などチェックがポイントなので地域と連携することが重要。【折田】
 ・ごみ有料化に伴い、不法投棄の増加が懸念されるため、引き続き不法投棄防止の施策を着実に実施していくことが必要である。【安齋】
 ・業者による不法投棄は山側に多い印象であるが、海側に住んでいる者は観光客の不法投棄（市から見たら不適切排出）に悩まされている。有料化に伴い海岸のごみ箱が撤去されてからますますひどくなっている様に感じる。パトロールや防災茅ヶ崎を使ったごみの持ち帰りを呼びかけるなど検討願う。【堀部】

【基本方針Ⅲ】市民・事業者・行政の協力体制及び4Rの推進を誘発する支援体制の確立

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 広報紙等各種媒体の利用による啓発の充実	① 広報手法・広報内容の検討及び効果的な啓発の実施	実施の有無	A	A
	② ホームページ、ハーモニアさがさき(市の広報番組)等の積極的な活用	実施の有無		
	③ 公共施設等におけるポスター掲示の活用	実施の有無		
	④ 外国人向けごみ情報の案内	実施の有無		

評価理由

- ・広報活動は順調に実施され、啓発はかなり進んでいると思われることから、A評価とした。【大野】
- ・各種の媒体で広報案内ができています。【八幡】
- ・市の意見に同意です。【松山】
- ・ごみ通信ちがさき・ごみサクなど効果的な啓蒙活動が実施されている。HPについて外国人がわかるように言語対応できている。【舟木】
- ・全ての項目において効果が得られたと思い、評価をAとしました。【坂本】
- ・広報手法・広報内容の検討及び効果的な啓発の実施：ごみ通信ちがさきの発刊、全戸配布にて現状を周知、ホームページ、ハーモニアさがさき等の接客的な活用、特設ページ及びWeb検索ツール(ごみサク)の更新&活用、公共施設等におけるポスター掲示の活用：ごみ通信ちがさきの活用、外国人向けごみ情報の案内：ホームページ(8カ国語)対応へ掲示、広告紙等各種媒体の利用による啓発の充実はA評価。【折田】
- ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
- ・各種広報活動が充実しているので、A評価とする。【安齋】
- ・効果が出ている為、評価をAとした。【堀部】
- ・様々な手法での啓発の継続がなされているため、また、外国人向けの情報案内もよい取り組みと考えるため。【日高】

取組概要に対する意見

- ・ごみの問題は排出者の意識に拠るところも大きく、啓発のための広報活動は継続して実施していくことが重要である。特に、事業者への情報発信に力を入れていただきたい。【大野】
- ・広報紙が魅力的、興味がわくような内容でないと資源物をごみとして処分されてしまいますね。住民は、公報や回覧物を意外と見ていません。お知らせだけで理解していると思わないでください。【渡邊】
- ・特にありません。【松山】
- ・ポスター掲示や啓蒙資料の配架は公共施設だけでなく、できる範囲で民間事業者に協力をお願いすることも必要ではないか。【舟木】
- ・とくにありません。【坂本】
- ・各種媒体の利用による啓発は、新しい情報をその都度伝えていけるように刷新していく事が重要。媒体が追いつかない場合、ホームページ&SNSなど臨機応変に活用し、迅速に市民に伝えるようにしていただきたい。【折田】
- ・ごみ有料化の成果について市民に周知していくことが、今後のごみ処理施策に対する市民の協力を繋いでいくので、広報活動に努めてほしい。見える化が重要である。【安齋】
- ・SNSは効果が大きいと思う。しかしながら、高齢者の方々にどう伝えるかも併せて考えなければいけない問題だと思う。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
2. ごみ問題に関連した市民対話・環境学習等の充実	①ごみ問題に関する市民との意見交換会の実施(重点施策)	実施実績	B	B
	②発生抑制、資源化に関する講演会の開催	開催実績		
	③児童向け環境学習への市職員の派遣	派遣実績		
	④親子向け、市民グループ向け等多方面への廃棄物処理施設見学会の実施	実施実績		
	⑤市民、事業者向け講座の開催	開催実績		
	⑥環境フェアにおける情報発信	開催実績		

評価理由

・④⑥を除いて実施状況ががんばりなかったことから、B評価とした。【大野】
 ・講座の回数と減っているが、努力はみられる【八幡】
 ・資料6の市の取組概要に基づいた内容であれば、①②③⑤⑥いずれも数値外の目標として、実施実績があることからAと評価できる。【松山】
 ・④について見学会27回、延べ2,049名の方が参加した実績は評価に値する。⑥について茅ヶ崎環境フェアにおいて【フードドライブ】を通して食品ロス削減によるごみ減量化を啓蒙すべく情報発信できている。【舟木】
 ・講座回数、講演会等の回数が減少したので、評価をBとしました。【坂本】
 ・ごみ問題に関する市民との意見交換会の実施：11自治会に対し出前講座の実施。発生抑制、資源化に関する講演会の開催：講演会は実施できず。児童向け環境学習への市職員の派遣：10小中学校に対し出前講座実施。親子向け、市民グループ向け等他方面への廃棄物処理施設見学会の実施：施設見学会27回開催、2,049人が参加。市民、事業者向け講座の開催：11自治会に対し出前講座実施。環境フェアにおける情報発信：ちがさき環境フェア2023で情報発信。ごみ問題に関連した市民対話・環境学習等の充実はB評価【折田】
 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】
 ・ごみ処理に関する環境学習の事業を着実に推進したのでA評価とする。【安齋】
 ・児童に関しては効果がみられるが、大人は関心のある人だけに効果が認められるため評価をBとした。【堀部】
 ・ごみの問題について、市民自身の問題と意識をもってもらう努力は大切である。ただ、目標通りでないところもあるためBとした。【日高】

取組概要に対する意見

・講座、講演会は手間がかかる割に効果が限定されると思われる。より効果的な講座、講演会を検討していただきたい。見学会は好評なようで、現場を見ながらの情報提供は有効と思われるため、拡大してはどうか。【大野】
 ・各種の説明会など企画の努力は感じますが、広く市民の意識向上にはつながっていない気がします。(市民の無関心が原因だと思いますか)【渡邊】
 ・他の重点施策や市職員の人的リソースの兼ね合いは分かりかねますが、実施回数というところでは昨年を下回るような内容が資料7「市の評価理由」に記載があります。②～⑤の学習関連が細分化されすぎて、実施回数が少なくならざるを得ない、そのような背景もあるのではないかと思います。「施設見学会を軸とした勉強会・講座」とまとめた形で、学習の機会充実が図られたかとするれば、大いに効果があったのではと考えます。映像学習コンテンツを作って、小中学校教育に取り込んでもらうなど、市の職員のリソースを別のことに活用できるような学習方法の構築もよいのではないのでしょうか。【松山】
 ・出前講座のやり方としてWebでの開催を混ぜるなど受講の機会を提供するなど工夫が必要と感じる。【舟木】
 ・他市または他県の資源の収集業務を行っている同業者等と意見交換した際に大人よりも子供の方が分別に対する意識が高いという話が出ました。これは学校等でごみに関する講演会等を聞いているからだと思えます。一人一人の意識を高めるために講演会等の回数を増やすことが必要だと思います。【坂本】
 ・6項目中5項目は実施した成果がでてくるが、できなかった項目の原因を考え改善につなげていただきたい。市民からの情報収集を通し、改善につなげていただきたい。【折田】
 ・評価指標の評価が数値外であっても、評価理由に件数の減少を取り上げるのは、矛盾している。【安齋】
 ・児童は授業で取り上げられている為、大人よりしっかり分別に対して意識が高いが、問題を起こすのは大人である。興味、関心の無い人たをいかに巻き込むことが出来るかによって今後が変わってくると思う。【堀部】

第2編 生活排水処理基本計画

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
基本目標	生活排水処理率	生活排水処理率	A	A
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに高い処理率となっている状況下で努力が認められるため、A評価とした。【大野】 ・市の評価に同意します。【八幡】 ・100%を期待します。【渡邊】 ・市の意見に同意です。【松山】 ・生活排水処理率が前年度比を上回っているため。【舟木】 ・効果が得られたと思い、評価をAとしました。【坂本】 ・生活排水処理率：目標達成率99.9%、基本目標はA評価。【折田】 ・総人口、公共下水道整備・接続人口、浄化槽人口を始め、関連人口の内訳と経年変化が別途示されており、いずれも好ましい推移が見て取れる。【橋詰】 ・基本目標を達成できているので、A評価とする。【安齋】【堀部】【日高】 				
<p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理率のこれ以上の向上は、物理的あるいは地理的に困難が伴うものと思われるが、引き続き努力していただきたい。【大野】 ・特にありません。【松山】 ・公共下水道に接続することに対するインセンティブを示し接続を促していく必要性を感じる。【舟木】 ・とくにありません。【坂本】 ・公共下水道接続の周知の結果であり、成果が現れているので継続が重要。環境への影響を踏まえ、成果のある取組みの継続と他自治体などの情報収集を通し、更なる改善につなげていただきたい。【折田】 ・引き続き、生活排水処理率の向上のための施策を実施すること。【安齋】【堀部】 				

【基本方針I】公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の整備促進による生活排水処理の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の普及推進	①公共下水道(汚水)整備事業の推進	汚水面整備率	B	B
	②水洗化奨励金制度等の活用による公共下水道への接続の促進	水洗化普及率		
	③補助制度の周知による合併処理浄化槽への転換の促進	補助事業により合併処理浄化槽を設置した基数		
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水面整備率、水洗化普及率は目標値に近い達成であり、合併処理槽については対象者がいなかったことから評価対象外とし、A評価とした。【大野】 ・市の意見に同意です。【松山】【日高】 ・①～②については数値目標が達成されている。【舟木】 ・①、②に関しては効果を得られたと思いますが、③に関しては効果は全く得られていないと思い、評価をBとしました。【坂本】 ・公共下水道整備事業の推進：目標達成率98.2%、水洗化奨励金制度等の活用による公共下水道への接続の推進：目標達成率99.1%、補助制度の周知による合併処理浄化槽への転換の促進：目標2基に対し、補助は0基、公共下水道・合併処理浄化槽の普及推進はB評価【折田】 ・総人口、公共下水道整備・接続人口、浄化槽人口を始め、関連人口の内訳と経年変化が別途示されており、いずれも好ましい推移が見て取れるのでA評価でも構わないと思うが、合併浄化槽補助の対象がなかったことを以ってのB評価ということなら、支持する。【橋詰】 ・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽の転換が進まなかったことによりB評価とした。【安齋】 ・①はほぼ目標値達成しており、②も問題無いように思うが、③が対象0と言う事で、評価をBとした。【堀部】 				
<p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組んでいただきたい。【大野】 ・調整区域の浄化槽の管理を住民任せとせず、強く管理の説明をしてもらいたい。 ・特にありません。【松山】 ・整備事業の推進や下水道接続の促進に向けて、対象地域や対象者へ奨励金制度や補助制度を繰り返し発信することが必要と感じる。【舟木】 ・合併処理浄化槽というものがどういうものなのか、また環境に対してどのような効果があるのかを知らない人が多いと思います。まず合併処理浄化槽がどういう物なのか周知していくことが必要なのではと考えます。【坂本】 ・目標2基に対し、0基の原因を踏まえ着実に1基ずつ転換できるような準備が必要。【折田】 ・単独処理浄化槽、合併処理浄化槽の設置件数等、事業対象の実態を把握する必要がある。【安齋】 ・②だが、汲み取り式のトイレの家について、建て替える予定があるか無いか等のヒアリングした方が良いと思う。建て替えや取り壊しを予定している為水洗化に踏み切っていない家がある可能性もあると思う。【堀部】 				

【基本方針Ⅱ】安定した収集・運搬と、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. し尿及び浄化槽汚泥の適正処理	①し尿及び浄化槽汚泥量の変化に対応した収集・運搬計画	計画策定	A	A
	②し尿処理施設の適正な維持・管理	実施の有無		
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者、寒川町との連携を進めており、A評価とした。【大野】 ・現状の取り組みが評価できる。【八幡】 ・市の意見に同意です。【松山】【日高】 ・①について計画が策定できた。②について寒川町と連携し施設の維持管理や修繕が行えた。【舟木】 ・特に問題ないと思ひ、評価をAとしました。【坂本】 ・し尿及び浄化槽汚泥量の変化に対応した収集・運搬計画：排出量に応じた計画の作成と実施、し尿処理施設の適正な維持・管理：寒川町と連携し、維持管理・修繕の実施、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理はA評価。【折田】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える【橋詰】 ・し尿や浄化槽汚泥の処理が適切に行われたので、A評価とした。【安齋】【堀部】 				
<p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組んでいただきたい。【大野】 ・さらなる努力をお願いします。<u>調整区域内で本下水が可能となった地域の排水管理埋設工事の費用負担は行政or施主？【渡邊】</u> ・特にありません。【松山】【坂本】【安齋】 ・数値で測れる評価方法を検討されたい。【舟木】 ・計画の策定と近隣自治体との連携など今後も継続していただきたい。この項目は継続し、維持管理していただきたい。【折田】 ・<u>急激な人口増が続いている為、計画通りにいかない事も出てくると思うが、寒川町と連絡を密にとり柔軟に対応していただきたい。【堀部】</u> 				

【基本方針Ⅲ】水環境の向上に向けた啓発活動等の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 啓発及び情報提供	①浄化槽の清掃の啓発	活動の有無	A	A
	②広報紙等による情報発信(重点施策)	活動実績		
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、啓発を適切に行っており、A評価とした。【大野】 ・広報活動ができています。【八幡】 ・市の意見に同意です。【松山】【日高】 ・清掃の説明など直接的な啓発が行えた。管理者に対して修繕を行うよう指導を実施し水質改善に繋げることができた。【舟木】 ・全ての項目において効果が得られたと思ひ、評価をAとしました。【坂本】 ・浄化槽の清掃の啓発：利用者に対し効果的な啓発活動実施、広報誌等による情報発信：市民便利帳ちがさき生活ガイドなど複数媒体で情報発信、啓発及び情報提供はA評価【折田】 ・①について、新規設置者に対する清掃の説明は当然だが、既存の設置者に対してはどうか。既存設置者については定期的な清掃(及び保守点検)が必要(浄化槽法の規定)であり、その適正実施の確認が必要。【橋詰】 ・浄化槽の適切な管理を促す活動ができたためA評価とした。【安齋】 ・①文書を渡すだけでなく説明したのが良かった。②に関しても様々な媒体を使つての情報発信は良いと思ひ、また適切な指導により水質改善された事もあり、評価をAとした。【堀部】 				
<p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>浄化槽の維持管理は水環境の維持に重要であり、ともすれば管理者の意識が欠落する可能性があることから、継続して取り組んでいただきたい。【大野】</u> ・新規浄化槽の説明は、住宅会社にお任せ感が強く、清掃時期も決まりはあるが、住民任せの感がある。【渡邊】 ・特にありません。【松山】【坂本】 ・<u>今後も活動実績などの情報発信を継続されたい。【舟木】</u> ・情報の発信はできている。今までに評価した全体項目で未達に終わった項目の原因、なぜ実施できなかったのかを分析し、一つずつ着実に成果をだせるように計画の修正が必要。時間なのか、コストなのか分析し、重要なものから実施できるようにしていただきたい。【折田】 ・②について、<u>法定検査結果が「不適正」と判断された浄化槽への「修繕」指導の内容は？【橋詰】</u> ・<u>単独処理浄化槽、合併処理浄化槽の設置件数等、事業対象の実態を把握する必要がある。【安齋】</u> ・<u>今後も啓発・情報発信を適切に行っていただきたい。【堀部】</u> 				